

1983-1984

月	日	曜日	場所	内容
1	1	月	函館市	例会
1	2	火	函館市	例会
1	3	水	函館市	例会
1	4	木	函館市	例会
1	5	金	函館市	例会
1	6	土	函館市	例会
1	7	日	函館市	例会
1	8	月	函館市	例会
1	9	火	函館市	例会
1	10	水	函館市	例会
1	11	木	函館市	例会
1	12	金	函館市	例会
1	13	土	函館市	例会
1	14	日	函館市	例会
1	15	月	函館市	例会
1	16	火	函館市	例会
1	17	水	函館市	例会
1	18	木	函館市	例会
1	19	金	函館市	例会
1	20	土	函館市	例会
1	21	日	函館市	例会
1	22	月	函館市	例会
1	23	火	函館市	例会
1	24	水	函館市	例会
1	25	木	函館市	例会
1	26	金	函館市	例会
1	27	土	函館市	例会
1	28	日	函館市	例会
1	29	月	函館市	例会
1	30	火	函館市	例会
1	31	水	函館市	例会

1983年1月1日(水) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月2日(木) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月3日(金) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月4日(土) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月5日(日) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月6日(月) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月7日(火) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月8日(水) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月9日(木) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月10日(金) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月11日(土) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月12日(日) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月13日(月) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月14日(火) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月15日(水) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月16日(木) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月17日(金) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月18日(土) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月19日(日) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月20日(月) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月21日(火) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月22日(水) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月23日(木) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月24日(金) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月25日(土) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月26日(日) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月27日(月) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月28日(火) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月29日(水) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月30日(木) 例会 函館市 内容 例会

1983年1月31日(金) 例会 函館市 内容 例会

プログラム

第251地区 第7分区



1983~1984

The Weekly Report of

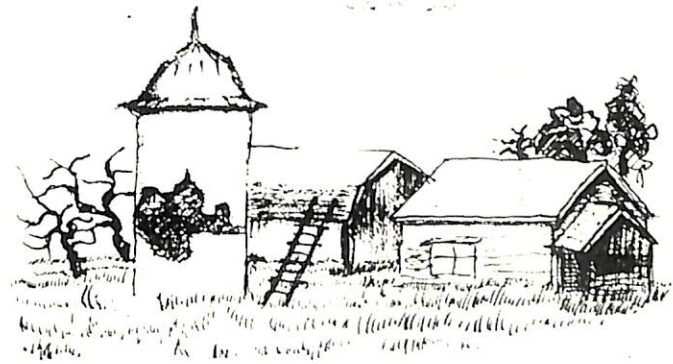
Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ウィリアム E. スケルトン 国際ロータリー会長テーマ

Share Rotary - Serve People

みんなにロータリーをーみんなに奉仕を



椎谷 龍彦 会員

《第 985 回例会》 第 30号 2月1日 (水)

本日のプログラム

夜 間 例 会

★会 長 成沢善次郎

★幹 事 中里 昇

1983～1984 <第984回例会> 第29号

1月25日の記録

- ◎司 会 成 沢 善次郎 会長 ◎齊 唱 奉仕の理想
- ◎ビジター 函 館R.C. 竹内新三郎 君他10名 函館東R.C. 西村敏雄 君他1名
五稜郭R.C. 斎藤 東栄 君他1名 亀 田R.C. 田中 仁 君
- ◎ゲ ス ト オーストラリア交換学生 ガイル・ウシルチさん

◎会長報告 成沢 善次郎 会長

- 交換学生ガイル・ウシルチさんが、予定より1日遅れ、23日無事着きました。
- 21日に第4回会長幹事会があり、第7分区I.G.F.の日程が決まりました。
4月22日 長万部クラブをホストに開催されます。
- ガバナー月信から抜粋報告
今般1月1日付をもって、重要な規定の改正が効力を発します。
- 1. ロータークラブはその区域限界に関係なく、市の行政区域内のどこからでも会員を入会させることができます。また、クラブは隣接クラブの区域限界内に住居もしくは事業場を有す人を会員として入会させることができる。
- 2. ローターは、例会時間の少なくとも60%（13時06分）出席しない限り、欠席とみなされることになりました。
- 3. 人頭分担金は、1月1日よりUS \$ 20に増額されます。
- 4. 58年12月迄の出席報告
第7分区平均92.97%、当クラブ平均96.11%です。私の在任中100%例会をお願いします。又、会員数も2名減ですので、新入会員の増強もお願いします。

◎幹事報告 中里 昇 幹事

- 会長報告にありました7分区I.G.F.の日程が決定しました。
59年4月22日 11時30分登録、12時点鐘、長万部福祉センター
登録料6,000円、仮登録＝2月25日迄、市内クラブでバスをチャーターする予定ですので、多数の参加をお願い致します。

- 例会変更 2月3日 五稜郭R.C.は2月2日、PM6:00より移動例会、湯川竜吟寺で節分祭を行う。ビジター料6,000円
- 当クラブも次回2月1日は、夜間例会です。
- 新入会員候補者がオープンになりましたので、お知らせします。

◎国際奉仕委員会 松本 修 委員長

- ガイル・ウシルチ さんの紹介

第975地区、オーストラリアのシドニーから当クラブへ派遣されました交換学生です。1966年4月21日生れで18才。御家族は御両親と弟が1人おります。来年の1月中旬まで当地に滞在し、遺愛女子高校第2学年普通科へ入学し、日本語と日本文化を学びます。

当ホストファミリーは

第1	佐々木 会員宅	1月～4月
第2	酒 井 〃	5月～7月
第3	深 瀬 〃	8月～10月
第4	堺 栄 〃	11月～帰国まで

尚、クラブカウンセラーは松本国際奉仕委員長が担当致します。

◎親睦活動委員会 三沢 洋大 会員

ニコニコBOX投入報告

宮崎 副会長……ニコニコBOXに協力します。

阿部 会員……… 〃

南 会員………ホームクラブ欠席がちです。

松本 会員………交換学生が1年間お世話になります。

佐々木会員………お正月、インド勉強に行ってきました。留守にして申しわけありません。

◎卓 話 “私のふるさと” 山内 一雄 会員

山内でございます。誕生月の卓話が参りましたので(私のふるさと)ということとで一寸だけお話し致します。

寛政5年6月に、露国皇帝の命を受けて、貿易使節船エカテリー号が箱館に入港致しました。これが外国船で箱館港に停泊した最初の船であります。この様なことがあったので、寛政11年(1799年)えぞ地の支配権を松前藩より取り上げて幕府御用掛により漁場の経営にも積極的に乗り出してきました。これが為産物廻漕に多くの船を必要としたので、幕府は、船場町先を埋立て築島と云いました。その埋立た地続きに、高田屋嘉兵衛が自力で埋立てて、造船場を作りました。高田屋の失脚後、天保年間に辻松之丞とか、安政4年(1857年)島野市郎次が造船場を設ける為、新たに1700坪の埋立てを行っております。場所は現在の道漁連のところから、旧郵便局本局、旧日本郵船会社の浜だったようです。その後更に豊川町、真砂町(現在大手町)あたりの浅瀬2万坪余りを松川某が漸次埋立て、造船場等が出来る源になりました。

明治2年(1869年)5月、榎本、大鳥等の幕府脱走軍の降伏によって函館戦争が終って開拓使がおかれることになりました。明治6年10月真砂町という町がこの場所に出来、これによって船場町(築島)、豊川町、真砂町、鶴岡町と、倉庫、魚市場が出来、造船場鉄工場が真砂町にまよって、造船機械関連工業地帯となるもになりました。明治8年開拓使庁より500石積以上の和船の建造禁止令が出、そのかわり西洋型船の建造に官費を貸与するとの規定が設けられ、この奨励策によって、辻松之丞、島野市郎次、続豊治、英人トムソン等4造船所で明治14年頃まで、西洋型帆船が60隻も建造されたと言う記録があります。この西洋型船を外人の技術を借りず、独学で設計建造を体得した、続豊治はこの当時の指導者の立場に立ち、船舶の建造に努力して居りました。ただ西洋型船も大型になり、建造は出来るが船が損傷した場合、船を引揚げて修繕する設備がないので、この点で函館は大きく立遅れの状態でした。明治11年頃、函館の実力者たちがドックを作ろうと積極的に動き出したのが、平田文右エ門、渡辺熊四郎、今井市郎エ門平塚時蔵ら、財界四天王と云われた人たちでした。明治14年2月真砂町7番地辺りに函館製鉄機械製造所が創設されました。これが函館ドックの前進であったのです。明治23年函館造船所と改称され、明治29年函館船渠株式会社となり、弁天町が本社に、真砂町は真砂町分工場となり、明治36年6月1万トンドックが完成したので移転したとされて居りますが、ドックが完成したので移転したとされて居りますが、ドックが完全操業するまでは分工場としてあった様です。これで大

型造船所が函館に出来たのであります。

明治27~8年の日清戦争、37~8年の日露戦争の頃に出来た船は、和船型でなく洋型船であり、帆装ばかりでなく、スチームエンジン、蒸気機関を取り付け、機動力により推進出来、補助機関付帆船となり汽船となりました。そして大正時代の第1次欧州大戦等で真砂町のこの辺り(この国際ホテルの周辺)に造船所、製缶機械工場、木型、鋳鉄、砲金鋳物、鍛造工場等がまとまり、大いに発展致しました。

登記簿によると、大正3年3月、私の祖父小杉長三郎が豊川町にあった住居をこの国際ホテルの両隣りの真砂町7番地、函館ドック会社分工場跡地で小杉造船所として営業を始め、木造ですが2~300トン位の船舶を建造して盛んであった様です。が、昭和年代になり、木船が網船に代り、スチームエンジンの内燃機関となるなどで造船機械関連工業の真砂町も分散して浅野町方面にも移る様になりました。船場町から豊川町の一部、真砂町とこの地域に於て、西洋型船の建造における研究と努力により、後世まで教を残した船匠続豊治に対し敬意を表すると共に、船場町(築島)郵船の浜が函館における西洋型造船発祥の地として造船屋の"ふるさと"であると思っております。又、この国際ホテル周辺は大型船建造の函館ドックの基礎の築かれたふるさとでもあり、又私の祖父、叔父共に造船に生き、そして終って行った町であります。私にとっても造船の技術を学び、昭和12年8月日支事変で召集になり、15年12月帰還した時は、この辺も大きく変り現在では、船場町、真砂町、そして鶴岡町も先人が苦勞して守って来た町の名前こそ無くはなりましたが、何時までも造船屋としてのわがふるさとであり、私のふるさとでもあります。

◎新入会員卓話 新 博夫 会員

昭和11年生れ。少年時代を市内駒場町ですごしました。昭和20年代の駒場町は畑が多く田園情緒の豊かなところで建物も少なくの場中学まで30分近く歩いて通学したものです。大学(早稲田)卒業後、大手の化学製品メーカーに勤務し、東京、仙台、札幌、大阪と各地を転勤したのち昭和58年より家業を継いでいます。

当時(昭和35~6年頃)は卒業しても函館では勤め先がなく同級生も函館に残っているものは殆んど居らず、東京、札幌他全国各地で活躍しているようです。

新合名会社は市内中心部、西部地区の土地賃貸及び所有地の売買を主たる業務としております。

現在、市内中心地及びその周辺での宅地賃貸は既に賃貸中で長期に渉るものが多く、新規の土地の供給は殆んどありません。これから新規の土地を購入し、それを貸地として供給することが購入費、賃貸料との関係で企業として採算の取れないという事情もさることながら、需要の側でも銀行ローンの発達した今、借りるよりは買う方がとの判断が働いているものと思います。従って当社の賃貸地でも建て替え等の折に現借地を買いたいとの申入れによる売買のケースが多くなっています。また手持の更地も売買が殆んどであります。

これからの不動産賃貸業は貸地上の建物の高層化による高収益化、駐車場への転用、宅地の賃貸から建物を含めての賃貸への形での変化が進むものと思われ
ます。

20周年記念基本案決まる

期 日 5月16日

11月の記念委員会委員長会議以来討議が続けられていたが、式典・祝宴などが決定されましたので、改めて全体概要をお知らせいたします。

会員各位の御協力をお願いします。

(広 報)

函館北 R. C. 20周年記念委員会

(敬称略)

実行委員長	遠藤尚義		
実行副委員長	三沢洋大		
委員会名	委員長	委員	※兼務
総務	成沢善次郎	安藤、市川、本間、宮崎、中里、野村、佐々木、戸栗、山内、※藤田、※渡辺	
登録	駒井幸一	藤川、浜田、保坂、飯田、西川、沢田、竹林	
接待	下郡山信一	青柳、深瀬、広瀬、小笠原、斎藤、佐藤高杉、山本	
会場	岩塚陽一	南、大江、田中南、田中隴、浜、小沢、石上、新	
記録	平野義勝	阿部、石橋、加藤、川村、西巻、小川椎谷、向山、角谷、戸崎	
祝宴	森秀樹	加進、川村、小村、松橋、堺栄、酒井高橋、竹野、吉田、樋口、橋場	
記念事業	松本修	伊藤、伊藤、※三沢、※成沢、※中里、※佐々木、関本	
広報	及川徳雄	沢村	

会 計 渡 辺 豊 ※藤田、※三沢
司 会 中 野 亮 中川

期 日 昭和59年 5 月 16日
(例会1000回目の日)

時 間 式典 16時00分～17時15分
祝宴 17時45分～19時15分

場 所 国 際 ホ テ ル
式典 平安の間
祝宴 寿陽の間

記 念 式 典 次 第

5分	}	点 鐘	式典委員長	遠 藤 尚 義
		国 家 斉 唱		
		ロータリー・ソング(奉仕の理想)		
		8分 開会のことば	式典委員長	遠 藤 尚 義
		5分 来 賓 紹 介	会 長	成 沢 善 次 郎
1分		物故会員への黙とう	”	成 沢 善 次 郎
5分		式 辞	”	成 沢 善 次 郎
7分		記念事業報告		松 本 修
3分		感謝状並びに記念品贈呈	会 長	成 沢 善 次 郎
7分		来 賓 祝 辞	第251地区ガバナー	竹 山 涼 一
5分		同	バストガバナー	太 宰 六 郎
30分		講 演	未 定	
2分		閉会のことば	次 期 会 長	宮 崎 英 一
1分		点 鐘	式典委員長	遠 藤 尚 義

(敬称略)

司 会 中 野 亮
中 川 洲 平

1時間15分

祝 宴

(敬称略)
会 員 一 同

北 R. C. の 歌

開会のことば

祝 詞

乾 杯

(祝 宴)

余 興

俣 野 純 夫

第7分区代理 赤 塚 繁 夫

ロータリー・ソング(手に手つないで)

閉会のことば

副 会 長 椎 谷 龍 彦

司 会 中 野 亮

中 川 洲 平

1時間15分(所要)

その他、講演者、来賓ご招待、記念品、記録など、各委員会別に細部の検討が行われております。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◎ 出席報告

会 員 数	72名	出 席 率	函 館 北 1月18日	94.37%	
出 席 席	40名		函 館 東 1月17日	96.30%	
欠 席 席	32名		函 館 1月12日	97.56%	
他クラブ出席	27名		函館五稜郭 1月13日	100.00%	
出席合計	67名		函館亀田 1月16日	振替休会	
除 外 者	1名				

次回・2月8日
プログラム

日 本 の 印 象

遺愛女子高等学校教諭 ミス ジャネル・ディクストラ

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル

事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第7分区



1983~1984

The Weekly Report of

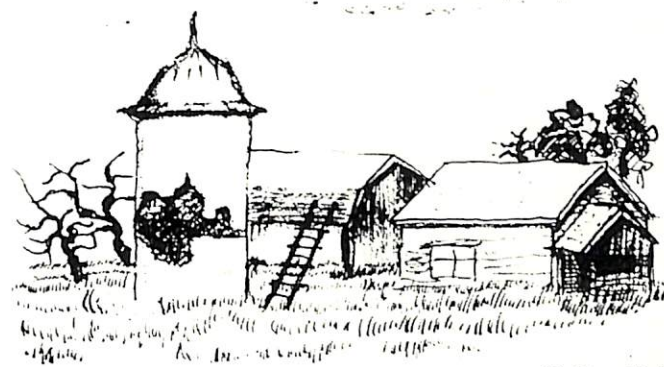
Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ウィリアム E. スケルトン 国際ロータリー会長テーマ

Share Rotary - Serve People

みんなにロータリーを—みんなに奉仕を



椎谷 龍彦 会員

《第 987 回例会》 第 32 号 2月15日 (水)

本日のプログラム

千 軒 岳 の 歴 史

北大水産学部助教授 農学博士 羽田野 六 男 氏

★会 長 成沢善次郎

★幹 事 中里 昇